

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はびたむ(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	意見	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・クールダウンの部屋を工夫したい ・療育時の個室となる場所を工夫したい ・療育スペースの区切りがもう少しできたら良い。(仕切りがもっと必要と思う時がある。)	基準に準じて活動スペースを確保していますが、療育スペースとクールダウンスペースを整備していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			配置基準を引き続き守りつつ、ばらつき等の無いよう工夫致します。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・児童それぞれにマークを設け分かりやすいようにしている。シールを貼り、子どもに必要な場所は分かりやすくなってきた。 ・分かりやすい空間になるように工夫している。 ・絵カードで一日の流れをホワイトボードに示し行動を伝える。 ・椅子に印をつけて分かりやすいように配慮している。 ・玄関前が2段ほどの階段になっている。	お子様の特性に合わせた環境設定を行うよう工夫致します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・毎日の掃除、消毒の他児童の安全に配慮し物の管理を行なっている。 ・特に感染予防の観点から、消毒・換気は徹底して行っている。	整理整頓等を徹底し、安全な環境でプログラムを実施しておりますが、より活動に合った空間コーディネートをして行きます。。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		・朝礼やミーティング、カンファレンス等で定期的にできていると思う。	ミーティングで意見交換をし、業務改善に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		・保護者から頂いた意見をカンファレンス等で共有し、改善点を話し合っている。	保護者様のご意見や事業所自己評価の意見を踏まえ、改善に努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		・ホームページで公開している。	保護者様のご意見や事業所自己評価の意見を踏まえ、改善に努めて参ります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	・令和2年9月実地検査を受けて以降、外部評価を受けていない。 ・第三者評価とそのフィードバックが必要。	今後、定期的に第三者評価を受ける機会を設け、更なる業務改善に努めてまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		・虐待防止等は内部研修を行っている。 ・定期的に行う研修と必要に応じて行う研修も行っている。	虐待防止、感染管理、事故防止等を引き続き計画的に実施し、職員の資質向上に取り組めます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			半年に一度(必要に応じ3か月)担当者間でアセスメントを行い、計画を策定しております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		・表に書き込んで共有できるようにする。	標準化アセスメントシートをもとにお子様の状況に応じ見直しを行っています。。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			ガイドラインに対する理解を深めるための研修を計画しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		・もっと具体的になるよう工夫している。	スタッフ間で支援計画を共有しております。

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はびたむ(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	意見	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			今後はチーム間で意見を出し合い活動プログラムを立案してまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・個々の達成状況によりプログラムの変更を行っている。	担当者間でのバランス等も考え、活動を引き続き工夫し、固定化しないように努めます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			お子様の状況に応じて個別・集団活動を組み合わせ計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・毎朝、朝礼を行い打ち合わせをしている。 ・朝、役割分担表を確認している。	ミーティングにて確認し、共有しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・何かあればすぐに情報を共有している。 ・そのための時間確保は難しいが不安に思ったことはすぐに確認するようにしている。 ・放デイの送迎前の時間を活用して振り返っている。	ミーティングで前日の振り返りをし、気付いた点などを共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			継続して支援経過記録の充実を図り、またケース会議での検証に繋げます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			定期的にモニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断しています。
保護者への説明責任等	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・児発管が担当が出席するようにしている。	児童発達管理責任者を中心に参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		・市役所の子ども家庭支援センター等と連携している。	今後も関係機関と連携してまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-		対象外
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		対象外
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・ケースに応じて幼稚園等に見学、先生方に話を伺う機会を作っていきたい。	今後も引き続き連携体制を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			状況に応じて情報共有させていただいています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			情報交換を通して助言をいただいておりますが、今後研修の機会を作っていきます。

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はびたむ(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	意見	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7	・コロナ禍の事もあり他所との交流は行っていない。	ご利用者様の体調や保護者様の意向に沿って今後検討いたします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7			コロナ禍のこともあり積極的に参加出来ておりませんが、今後は状況を見ながら参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・保護者との対話、コミュニケーションを大切にしている。 ・送迎の際に様子を伝える。	お子様の成長を保護者様と共有し、課題についても共通理解を持つよう図っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7			成長に合わせた支援方法やアドバイス、どの職員も相談に対ししっかりと対応できるよう努め、また研修にも参加していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			ご契約時に説明させていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			保護者様へ支援計画の内容をお伝えし、同意をいただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・面談を行う。 ・公認心理士が配置されたこともあり、保護者様からの相談に対応していくことが、今まで以上に充実できると思う。	保護者面談や送迎時にお話しし、必要な助言と支援を行なうよう努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7	・開催なし。今後企画していく必要がある。	コロナ禍の状況で制限もあると思いますが、保護者様の状況や、ニーズに合わせて検討致します。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			お子様や保護者様から相談や申し入れがあった際には適宜対応させて頂いております。今後は相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・はびたむ通信を定期的に行っていきたい。 ・プールの連絡や面談のお知らせなど、断続的になっている。	今年度より年4回はびたむ通信を発行いたします。
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7		・徹底して行っている。 ・施設内が無になる時は鍵をしっかりとける等、気をつけている。	今後とも個人情報には細心の注意を払ってまいります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・デリケートな話の場合もあるので場所、内容等配慮して行っている。	送迎時にお話しできる時には、特に気になったことは重点的にお伝えし、場合によっては事業所内で面談時間を設けております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			情勢を考慮し、衛生・感染対策等を徹底しつつ、地域活動の一環として引き続きイベント等を検討していきたいです。

公表 令和4年8月31日（水）

事業所名 はぴたむ(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	意見	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			マニュアルは策定しておりますが、詳細を保護者様に伝えていない部分もあり、きちんと伝えられるようにしていきます。訓練に関しては防犯の監視手が出来ていないため、今後計画していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・防災に関しては定期的に行なっているが、自然災害に関しては出来ていない。	地震や水害等の非常災害に備えた訓練BCPIに基いても今後行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7		・事前調査や聞き取りで確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	・医師の指示書は特にもらっていない。 ・保護者の聞き取りで対応している。	おやつを提供しているので細心の注意を払っております。 アレルギーのあるお子さんは基本おやつを持参していただいております。 状況によっては主治医との連携を図ってまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			事業所内で生じたヒヤリハット事例を共有しております
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・社内研修を年2回計画し行なっている。 ・機会があれば外部研修に参加している。	事業所内での研修も定期的に行っています。外部研修にも計画的に参加しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		・契約時の説明のみで終わってしまっている。 ・事例がない。	現在、身体拘束をしているお子様はいらっしゃいませんが、どうしても必要な場合は十分な説明と個別支援計画への反映、保護者様の了承を必ず得た上で行うこととなります。